



下野薬師寺歴史館

当館は、下野薬師寺跡の南西に隣接して建設された下野薬師寺跡のガイダンス施設です。館内では、発掘調査によって見つかった瓦をはじめとする出土遺物、寺に関わる文献史料、復元模型などの展示資料のほか、映像などによって寺の歴史をわかりやすく解説しています。

下野薬師寺跡ふるさと歴史の広場



復元回廊

回廊の北西角部分を復元。古代から伝わる工法によって建築が行われています。



安国寺六角堂

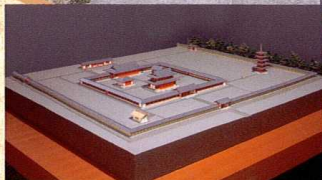
戒壇の伝承地に建立された六角形の堂。幕末ごろの建立と考えられています。



南西上空から見た歴史の広場
下野薬師寺跡を復元整備。現在は、南西の一部の整備が完了しています。

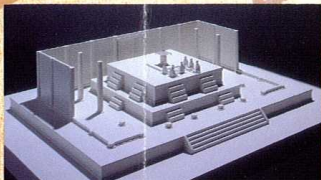
史跡総合説明板

下野薬師寺の伽藍配置を陶板で表示している他、説明板によって寺の概要を知ることができます。



下野薬師寺復元模型

1/150スケールの伽藍復元模型。模型は、平成6年度以前の発掘調査成果をもとに製作されています。従来は、回廊の中央に金堂があると考えられていましたが、近年の調査で金堂ではなく創建の塔であることがわかりました。



戒壇のイメージ模型

三節二証の受戒の様子を表した1/30スケールのイメージモデル。日本における古代の戒壇の構造は不明であるため、唐の僧・道宣によって構築された「関中創立戒壇図経」の構造、寸法をもとに製作しました。



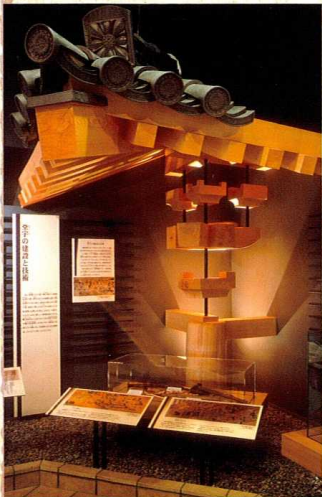
様々な瓦

寺で使われた軒先瓦を年代順に展示しており、瓦の文様の移り変わりを知ることができます。



基壇の造りかた

基壇の剥取り標本によって建物の基礎がどのように造られているかを知ることができます。



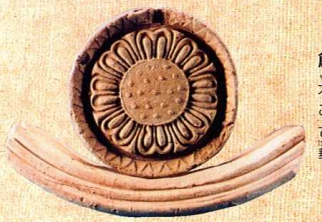
回廊の原寸大模型

回廊の原寸大の分解模型。屋根を支える組物などの構造を見ることができます。



薬師寺の梅

広場では2月下旬から3月上旬ごろに紅白の梅約80本が咲き乱れます。



創建期の軒先瓦

大和国川原寺と同系の文様であることから寺の創建が7世紀末ごろであることがわかります。上が蓮華文鏡瓦、下が重弧文字瓦です。



創建期の鬼瓦

蓮華をモチーフとした鬼瓦。寺のシンボルマークとして図案化し、このパンフレットにも使用しています。下半部は、東京国立博物館所蔵品のレプリカです。

モデルコース

歴史館

史跡総合説明板

復元回廊

安国寺六角堂

創建の塔跡

東側建物跡

檀竿支柱跡

再建の塔跡